



Learning Teachers' Forum ~英語を教えるすべての人へ~

Column 1 企業研修で結果を出す

徹底サポートが受講生の意識を変える

英語講師兼語学書作家として、幅広く活動している多岐川恵理さん。大手企業の新入社員研修や中堅社員研修ではTOEICテスト対策講座講師として、また、航空業界を志望する女性のための英語面接対策インストラクターとして講義をしている。さらに、高校で英語学習法や留学体験について著書をもとに講演をすることもあった。

企業研修(TOEIC講座)では、1回6~8時間のレッスンを2週間から1カ月おきに3~5回行うのが通常だ。「受講日の合間にいかに充実した自己学習をしてもらうかが大切なので、一週間に一度メールで成果&目標報告してもらったり、一人ひとりにこちらからメッセージを送ったりしています」と、多岐川さんはサポートにも力を入れている。そもそも、企業研修では会社命令や上司の勧めで受講する人が多い。「英語を教える以前に、モチベーションが上がるよう導くことが必要です。仕事にどうにかせるかを具体的に示したり、フォローメールで一人ひとりに向き合ったりするメ

ことで信頼度が増し、授業にも前向きに取り組むようになります」と、受講生のモチベーションを高める工夫をしている。

ある企業の新人研修では、全受講生と講師に「100点アップ」をノルマとして課しているという。多岐川さんによれば「クラス平均で実際に達成できており、200点以上アップする生徒も必ず出ています。最高で500点が760点になりました」とのこと。信頼関係を築くことで、確実に結果につながる授業を提供している。



多岐川恵理さん
英語講師・語学書作家
ブログ「今日のコトバ by 多岐川恵理」
<http://blog.livedoor.jp/transmedia/>

Column 2 講師兼作家として

日々の努力が結果を出す

日本の短大からアメリカの州立大学へ編入し、マーケティングを学び卒業。その後、貿易会社での勤務を経て、フリーライターに転じた多岐川さん。語学書『関係代名詞を使った英会話』(明日香出版社)が好評で、その後いくつかの出版社から本を出すことになり、また講演や個人レッスンの依頼が来るようになったという。そして、ある出版社のパーティーでスピーチをしたところ、企業派遣講師にスカウトされた。

講師としての最大の喜びは、「英語の勉強を通して、英語の知識はもちろん、それ以上のものを得てくれる生徒さん達を見ることです」と話す多岐川さん。実際に、TOEIC講座に参加した入社30余年のエンジニアが、授業にも自宅学習にも必死に取り組む、3回の授業後に大幅スコアアップ。お礼のメールには、メ

「これからの人生、まだまだやれるぞという自信になりました」と書かれていたそうだ。

出版もこなす多岐川さん。語学書作家と英語講師の両立について、「本を書くのは、顔の見えない相手を喜ばせることです。ありとあらゆる相手を想定して、サービス精神全開で、できるだけシンプルに書くことが、講師業の修行にもなっています」と話す。

多岐川さんは、日頃の努力に余念がない。TOEIC、多読、通訳、話し方など、多種多様なセミナーへの参加、TOEIC受験、ボイストレーニング、ブログ執筆など、自己啓発にも力を入れている。それらの活動が、講義や執筆に好影響を与えている。



第6回の講座より

いつまで“英語”を教えるのですか?

成果を出す指導者になりませんか

第7回TOEIC®テスト スコアアップ指導者養成講座

日時：2011年2月12日、13日、26日、27日 10:30~17:30

会場：アルク本社イベントホール

講師：ロバート・ヒルキ、ヒロ前田

内容：パート別指導法、クラスルームマネジメントほか

資格：TOEICまたは英語指導の経験者(またはTOEIC900点以上の方)

詳細はコチラから▶▶ <http://www.alc.co.jp/event/>